

Ⅱ. 事業の概要

【事業計画の進捗・達成状況ならびに主な教育・研究概要】

1. 教学関係（昭和音楽大学・同短期大学部）

- (1) 海外研修
- (2) 国内研修
- (3) 招聘教授

2. 演奏会関係

- (1) 演奏会
- (2) テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ活動報告
- (3) 公開講座

3. 研究所関係

- (1) オペラ研究所
- (2) バレエ研究所
- (3) 舞台芸術政策研究所
- (4) 歌曲研究所
- (5) アートマネジメント研究所
- (6) 音楽療法研究所
- (7) 音楽教育研究所
- (8) ピリオド音楽研究所

4. 事業運営部関係

- (1) 附属音楽・バレエ教室
- (2) パスウェイズ
- (3) 附属ピアノアートアカデミー
- (4) ストリングスアカデミー運営室

5. 施設設備関連

6. 2025 年度入学試験報告

【中長期計画】

- 学校法人東成学園新中長期計画 2024 年度(6 月 1 日)～2029 年度の進捗報告
- 財務に関する中長期計画の報告

1. 教学関係

(1)海外研修

1. イタリア研修(必修・選択)

日本で学んだヨーロッパの文化について、現地の社会と芸術に直接触れることにより更に見識を深め、実技レッスンやアンサンブル等の授業を本学研修所で集中的に受講することにより、学生各自の感性・芸術性等の向上を目的として実施している。

科目名、研修名	2025(令和7)年度 実績	参加人数
海外研修Ⅰ(必修)		
長期A団(ピアノ)	2026年2月6日(金)～2月19日(木)	19名
長期B団(声楽)	2026年3月10日(火)～3月24日(火)	14名
海外研修Ⅱ、海外研修(ヨーロッパ実技) ※学短選択		
海外研修(専攻科)※専攻科選択		
海外特別研修①、修士海外特別研修① ※院選択		
ヨーロッパ実技	2026年2月24日(火)～3月5日(木)	16名
海外研修Ⅳ(選択)		
ヨーロッパ見学	最少催行人数に達しなかったため実施せず	—

2. アートマネジメント・舞台スタッフ研修(選択)

アートマネジメントコースおよび舞台スタッフコースの選択科目「海外研修Ⅱ」として、また、大学院修士課程の「海外特別研修①②」として合同で実施している。イギリスの芸術関連施設や美術館等を訪問・見学し、現地の舞台関係者による特別講義を実施している。

2025年度は最少催行人数に達しなかったため実施せず。

3. バレエロンドン研修(選択)

大学・短大のバレエコース合同で選択科目「海外研修Ⅱ」として開講し、ロンドンにて劇場見学、RAD(Royal Academy of Dance)にて 現地講師によるバレエレッスンを中心に実施している。

2025年度は最少催行人数に達しなかったため実施せず。

4. ミュージカル実技研修(選択)

「海外研修Ⅱ」として開講し、ニューヨークの市内見学、ミュージカル鑑賞、BDC(ブロードウェイダンスセンター)でのダンスレッスンとヴォーカルワークショップを中心に実施している。

2023年度、2024年度と同様に2025(令和7)年度も、「ニューヨーク見学研修」と一緒に実施。※現地大雪による非常事態宣言と飛行機運休のため日程を変更した。

当初実施期間:2026 年 2 月 23 日(月)~3 月 5 日(木)

変更後の実施期間:2026 年 2 月 27 日(金)~3 月 5 日(木)

参加人数:10 名

5. ニューヨーク見学研修(選択)

「海外研修Ⅱ」、「海外特別研修①②」、「修士海外特別研修①」として開講し、ミュージカル実技研修と同日程でニューヨーク市内見学を中心とした研修として実施している。また、大学院修士課程の「海外特別研修①②」として合同で実施している。※現地大雪による非常事態宣言と飛行機運休のため日程を変更した。

当初実施期間:2026 年 2 月 23 日(月)~3 月 5 日(木)

変更後の実施期間:2026 年 2 月 27 日(金)~3 月 5 日(木)

参加人数:8 名

(2)国 内 研 修

1. 英語研修(必修・選択)

アートマネジメントコース必修科目として実施している。2023 年度から全学的に短大 1 年次、学部 2 年次~選択科目としても開講。ネイティブスピーカーの講師陣による授業を通じて、実践的な英語コミュニケーション能力の向上を目的としている。

2023、2024 年度に続き、2025(令和 7)年度も福島県における語学研修施設(ブリティッシュヒルズ)での研修を実施した。

実施期間:2026 年 3 月 3 日(火)~3 月 6 日(金)

参加人数:13 名

(3)海外招聘指導者

2025(令和7)年度 招聘指導者実績

	招 聘 指 導 者	日 程	内 容
1	ユージン.M.コーポロン (指揮)	2025 年 5 月 25 日～6 月 1 日	吹奏楽指導・指揮
2	ジュリエット・ユレル (フルート)	2025 年 6 月 24 日	公開レッスン ミニコンサート
3	ジョン・オコーナー (ピアノ/客員教授)	2025 年 7 月 3 日～7 月 17 日	個人レッスン 公開講座
4	ヴェンツェル・フックス (クラリネット)	2025 年 7 月 9 日	公開レッスン ミニコンサート
5	アクセル・ブノワ (ファゴット)	2025 年 7 月 22 日	公開レッスン ミニコンサート
6	ジャック・デルプランク (ホルン)	2025 年 8 月 25 日	公開レッスン
7	マルコ・ガンディーニ (演出/客員教授) ニコラ・パスコフスキ (指揮) イタロ・グラッシ (美術)	2025 年 9 月 2 日～10 月 13 日 2025 年 9 月 7 日～10 月 13 日 2025 年 10 月 1 日～10 月 12 日	大学オペラ公演 《ラ・ボエーム》 2025 年 9 月～10 月
8	小田井郁子 (ピアノ・コレペティトア)	2025 年 9 月 22 日	公開レッスン レクチャー
9	ドミニク・フレースハウヴァース (打楽器)	2025 年 10 月 8 日	特別講座 ミニコンサート
10	カテジーナ・ヤヴルコーヴァ (ホルン)	2025 年 10 月 24 日	公開レッスン ミニコンサート
11	セルジオ・カロリーノ (チューバ)	2025 年 12 月 20 日	公開レッスン ミニコンサート
12	ヴォイチェフ・シヴィタワ (ピアノ/客員教授)	2026 年 1 月 9 日	公開レッスン 公開講座
13	ジャクリーン・ヴェント (ダンス)	2026 年 1 月 26 日～2 月 2 日	レッスン
14	カタリーナ・ベーム (フルート)	2026 年 2 月 13 日	公開講座 (ピリオド音楽研究所)
15	イエレーン・ベルワルツ (トランペット/客員教授)	2026 年 3 月 13 日	公開レッスン ミニコンサート

2. 演奏会関係

(1)演奏会

2025年度実績

月日	曜日	名称	会場	来場者数
4月1日	火	令和7年度 入学式奏楽・祝賀演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	式典関係者
5月31日	土	吹奏楽団昭和ウインド・シンフォニー第26回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	427
6月5日	木	第29回作曲作品発表	ユリホール	55
6月14日	土	室内合奏団第15回定期演奏会	ユリホール	172
6月26日	木	推薦演奏会(令和7年度第1回)	ユリホール	200
6月28日	土	吹奏楽団第3回ファミリー定期演奏会 ※麻生区共催	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	① 736 ② 759
6月29日	日	学部ミュージカルコース3年春学期成果発表	スタジオ・リリエ	① 148 ② 157
7月13日	日	学部ミュージカルコース4年春学期成果発表	スタジオ・リリエ	① 177 ② 171
8月2日	土	短大バレエコース春学期成果発表	スタジオ・リリエ	94
9月18日	木	Bravissimi!! I giovani musicisti～素晴らしき若手音楽家たち Vol.4～昭和音楽大学&ソウル市立大学校 日韓大学交流コンサート	ユリホール	151
9月20日	土	昭和音楽大学 打楽器教員によるSHOWA Percussion Ensemble 2025～第9回菅原淳アレンジ・コレクション～	ユリホール	260
9月25日	木	教員・研究員研究発表(令和7年度①)	ユリホール	90
10月2日	木	推薦演奏会(令和7年度第2回)	ユリホール	186
10月5日	日	日豪文化交流／西オーストラリアユースジャズオーケストラ (WAYJO)合同コンサート(協賛:North West Shelf Gas Pty)	C101スタジオブリオ	102
10月11日	土	大学オペラ2025《ラ・ボエム》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	924
10月12日	日	大学オペラ2025《ラ・ボエム》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	849
10月25日	土	第32回コンチェルト定期演奏会①	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	236
10月28日	火	第23回学長賞声楽コンクール 本選	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	56
11月6日	木	第3回作曲コンクール	ユリホール	44
11月8日	土	第32回コンチェルト定期演奏会②	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	281
11月11日	火	第14回アンサンブルコンクール	ユリホール	87
11月18日	火	教員・研究員研究発表(令和7年度②)	ユリホール	237
11月22日	土	管弦楽団第44回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	286
11月25日	火	推薦演奏会(令和7年度第3回)	ユリホール	97
12月2日	火	推薦演奏会(令和7年度第4回)	ユリホール	93
12月4日	木	第23回電子オルガン定期演奏会	ユリホール	95
12月6日	土	吹奏楽団第39回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	364

月日	曜日	名称	会場	来場者数
12月13日	土	第50回メサイア	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	792
12月20日	土	短大バレエコース秋学期成果発表	スタジオ・リリエ	60
12月21日	日	ミュージカル・舞台スタッフコース卒業公演《スーシカル》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	① 652 ② 511
1月25日	日	学部ミュージカルコース3年秋学期成果発表	スタジオ・リリエ	① 173 ② 192
2月8日	日	学部・短大バレエコース卒業公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	532
2月14日	土	大学院室内楽コンサート	ユリホール	162
2月15日	日	大学院修士課程修了オペラ公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	325
2月22日	日	学部/短大 ジャズコース／ポピュラー音楽コース／ポップ＆ロックミュージックコース卒業ライブ	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	586
3月1日	日	陸上自衛隊中央音楽隊&昭和ウインドシンフォニーキャンパスコンサート	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	848
3月12日	木	卒業記念スペシャルLIVE at TOKYO FMホール	TOKYO FMホール	101
3月14日	土	音楽学部・短期大学部 令和7年度卒業演奏会	ユリホール	220
3月15日	日	音楽学部・短期大学部 令和7年度卒業演奏会(昼の部/夜の部)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	① 255 ② 190
3月17日	火	卒業記念スペシャルコンサート at 銀座王子ホール	王子ホール	133
3月19日	木	卒業式奏楽	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	式典 関係者

<外部主催公演>

月日	曜日	名称	会場	来場者数
8月5日	火	フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2025 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウワオーケストラ	ミュージザ川崎 シンフォニーホール	外部主催
11月24日	月祝	第16回音楽大学オーケストラ・フェスティバル(昭和音大/東京藝大/桐朋学園大学)	ミュージザ川崎 シンフォニーホール	外部主催
3月28日	土	第15回音楽大学フェスティバル・オーケストラ(合同オーケストラ参加)	東京芸術劇場コンサートホール	外部主催
3月29日	日	第15回音楽大学フェスティバル・オーケストラ(合同オーケストラ)	ミュージザ川崎 シンフォニーホール	外部主催

(2)演奏会(テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ)

2025年度実績

<本学主催>

月日	曜日	名称	会場	来場者数
4月12日	土	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ ユリシリーズ Vol.1 指揮者のいないオーケストラ《ハイドン》に挑む	ユリホール	109
6月7日	土	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ ユリシリーズ Vol.2 《モーツァルト》の管楽合奏と交響曲	ユリホール	110
7月12日	土	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ第31回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	308
8月5日	火	フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2025 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ(ミュージザ・本学共催)	ミュージザ川崎シンフォニーホール	763
9月6日	土	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ ユリシリーズ Vol.3 指揮者のいないオーケストラ《ベートーヴェン》に挑む	ユリホール	134
10月25日	土	第32回コンチェルト定期演奏会① (1日目)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	236
11月8日	土	第31回コンチェルト定期演奏会② (2日目)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	281
12月9日	火	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ ユリシリーズ Vol.4 指揮者のいないオーケストラ	ユリホール	119
12月27日	土	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ 第九演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	1168
3月7日	土	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ第32回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	455

<学内演奏会>

月日	曜日	名称	会場	来場者数
5月22日	木	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ フレッシュ・アーティストシリーズ①	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	190
6月12日	木	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ フレッシュ・アーティストシリーズ②	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	180
1月15日	木	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ フレッシュ・アーティストシリーズ③	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	203

<外部主催公演>

月日	曜日	名称	会場	来場者数
4月26日	土	藤原歌劇団アルテリッカ/グノー《ロメオとジュリエット》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	外部主催
4月27日	日	藤原歌劇団アルテリッカ/グノー《ロメオとジュリエット》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	外部主催
5月10日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演《コッペリア》(ピーター・ライト版)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	外部主催
5月11日	日	スターダンサーズ・バレエ団公演《コッペリア》(ピーター・ライト版)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	外部主催
11月1日	土	千葉県立犢橋高等学校40周年記念事業芸術鑑賞	千葉県文化会館	外部主催
11月29日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演《くるみ割り人形》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	外部主催
11月30日	日	スターダンサーズ・バレエ団公演《くるみ割り人形》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	外部主催
1月25日	日	ニューイヤーコンサート 第14回ベートーヴェン交響曲第9番「合唱付」	伊勢原市民文化会館	外部主催
2月22日	日	東大和市民合唱団「第九を歌う会」第25回演奏会(ブッチェニ《グロリア・ミサ》)	東大和市ハミングホール	外部主催

(3)公開講座・提携事業

2025年度実績

<本学主催>

月日	曜日	名称	会場	受講者数
4月～3月	月	リカレント講座 ピアノ指導法《ソロ教材研究講座》 5/20、6/17、7/8、8/25、9/22、10/6、1/19、2/9、3/9	(オンライン)	36
4月～3月	月	リカレント講座 ピアノ指導法《2台ピアノ講座》 4/22、5/27、6/24、8/18、9/8、10/27、1/26、2/16、3/23	(オンライン)	20
4月～3月	月	リカレント講座 ピアノ指導法《作品研究講座》 4/15、6/3、7/1、9/1、9/29、10/20、2/2、3/2、3/30	(オンライン)	16
6月21日	土	ポピュラー音楽講座 ”懐かしい”は、いま”新しい”	南校舎B311	22
7月12日	土	大学オペラプレ講座① プッチーニの世界:作曲家と《ラ・ボエーム》	南校舎A311	22
7月20日	日	音楽療法講座 子どもの「健やかな育ち」と「音楽」 第1回 音楽で育てよう 子どものコミュニケーション・スキル	南校舎C511	35
7月27日	日	音楽教養講座 シェイクスピアと音楽	南校舎C511	46
9月13日	土	音楽教養講座 ロシア国民楽派とチャイコフスキー 第1回	南校舎C511	34
9月15日	月	大学オペラプレ講座② 《ラ・ボエーム》の見どころ・聴きどころ	南校舎C511	22
10月4日	土	音楽教養講座 ロシア国民楽派とチャイコフスキー 第2回	南校舎C511	34
10月5日	日	音楽療法特別講座 モーツァルトで免疫力を鍛えるコツ	南校舎C511	114
10月18日	土	音楽教養講座 ロシア国民楽派とチャイコフスキー 第3回	南校舎C511	24
11月9日	日	音楽教養講座 バッハの作品について 第1回 教会カンタータとキリスト教の暦について	南校舎C511	49
11月23日	日	音楽療法講座 第2回 場面緘黙の子どもへの支援と音楽療法	南校舎C511	47
11月26日	水	音楽教養講座 ロマン派の知られざる奏法 ～弦楽四重奏とチェロの 独奏～	ユリホール	40
11月29日	土	音楽教養講座 ロシア国民楽派とチャイコフスキー 第4回	南校舎C511	34
11月30日	日	音楽教養講座 バッハの作品について 第2回 受難曲・マニフィカトなどについて	南校舎C511	47
12月7日	木	音楽教養講座 サイレント映画と音楽の出会い vol.3	ラ・サーラ・スカラ	28
2月18日	水	日本語唱法研究会「日本の歌と朗読のこころ」	南校舎C511	25
2月28日	土	音楽教養講座 ドビュッシーをめぐる美術～印象派と象徴派の世界 ～	南校舎C511	73
3月8日	日	音楽療法講座 第3回 子どもが弾ける(はじける)！音楽活動のアイ デア	南校舎C511	20
3月15日	日	リカレント講座 ピアノ指導法特別講座	南校舎C511	47
3月20日	金・祝	ポピュラー音楽講座 シニア世代のためのバンドアンサンブル	南校舎C101	7

<共催>

月日	曜日	名称	会場	受講者数
認定NPO法人かわさき市民アカデミー				
5月13日	火	「続・ワーグナーに親しむ」 「指輪」の世界	ユリホール	89
5月20日	火	「続・ワーグナーに親しむ」 「指輪」と演出 バイロイト初期から現代へ	ユリホール	88
6月3日	火	「続・ワーグナーに親しむ」 《ワルキューレ》について	ユリホール	88
6月17日	火	「続・ワーグナーに親しむ」 同時代と後世への影響	ユリホール	87
7月1日	火	「続・ワーグナーに親しむ」 ワーグナーとイタリア	ユリホール	87
7月8日	火	「続・ワーグナーに親しむ」 ワーグナーを歌うこと《演奏付き》	ユリホール	85
10月14日	火	19世紀 変化する社会とオペラ ブルジョワの台頭とオペラの題材・作風の変化	ユリホール	66
10月21日	火	19世紀 変化する社会とオペラ マスカーニ《友人フリッツ》1891	ユリホール	64
10月28日	火	19世紀 変化する社会とオペラ フンパーディンク《ヘンゼルとグレーテル》1893	ユリホール	62
11月25日	火	19世紀 変化する社会とオペラ J. シュトラウス《こうもり》1874	ユリホール	63
12月9日	火	19世紀 変化する社会とオペラ ヴェルディ《レイザー・ミラー》1849	ユリホール	66
1月20日	火	19世紀 変化する社会とオペラ 演じる立場から 歌と芝居の関係について(歌唱付)	ユリホール	63
株式会社 プレラーディオ				
通年	-	オペラ歌手と日本の名曲を歌う会(全6回) 5/29(196), 7/17(152), 9/12(156), 11/27(210), 1/22(153), 3/5(219)	ユリホール	1,086 ※延人数
6月21日	土	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート vol.33	ユリホール	80
10月18日	土	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート vol.34	ユリホール	90
3月1日	日	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート vol.35	ユリホール	85
7月13日	日	【Alla Carta】泉ピン子氏講演会	ジーリオ	454
9月13日	土	【Alla Carta】ジェーン・スーさん講演会	ユリホール	349
川崎市アートセンター				
3月7日	土	日本映画大学×昭和音楽大学コラボ企画「映像の音楽を語る」	川崎市 アートセンター	35
川崎信用金庫				
10月27日	月	こども服(絵本)の譲渡会 ミニコンサート(フルート四重奏)	OPA新百合ヶ 丘店B1F	65

<提携事業>

新冠町提携事業(新冠町／北海道)

1. 音楽団体演奏クリニック（対面開催）
2. 新冠町&昭和音楽大学パートナーシップコンサート、アウトリーチコンサート

中札内アートの村づくり推進事業（中札内村／北海道）

子どもアートプロジェクト
（音楽の授業サポート・部活動指導補助・演奏活動等）

<協力>

月日	曜日	名称	会場	受講者数
NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり／川崎市麻生区役所地域振興課				
12月7日	土	「カフェ・グランデ あさお」楽器づくりのワークショップ	新百合 21ホール	40

3. 研究所関係

オペラ研究所

昭和音楽大学オペラ研究所は、昭和音楽大学の建学の精神に基づき、総合芸術たるオペラおよびその関連領域について研究することを目的とする。

【2025 年度研究員(五十音順、敬称略)】

所長

石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員

井ノ上 了吏 昭和音楽大学教授

五十嵐 麻利江 昭和音楽大学客員教授

小畑 恒夫 昭和音楽大学客員教授

岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学客員教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

鈴木 とも恵 昭和音楽大学准教授

吉原 潤 昭和音楽大学准教授

袴田 麻祐子 昭和音楽大学嘱託職員

嘱託研究員

関根 礼子 昭和音楽大学嘱託研究員

●2025 年度活動内容

1. 日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集

音楽評論家の関根礼子氏を中心に、日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集を継続して行った。蓄積した情報は、『日本のオペラ年鑑』編纂に活かされるほか、オペラ関係者の要望に応じて提供される。

2. 『日本のオペラ年鑑 2024』の編纂・公開事業への協力

本学の石田麻子教授を編纂委員長とし、日本国内で行われたオペラ公演についての記録と分析記事を掲載する『日本のオペラ年鑑 2024』の編纂・公開に協力した。本事業は平成 8 年度から継続的に行われているもので、本年度は(独)日本芸術文化振興会「令和 7 年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」の一環として、(一社)グランドオペラジャパンが受託したものを、本学が再委託としてデータ調査・収集・入力・校正業務を担った。

【編纂委員(五十音順、敬称略)】

石田 麻子: 昭和音楽大学オペラ研究所所長・教授〔編纂委員長〕

江藤 光紀: 筑波大学人文社会系准教授

小畑 恒夫: 昭和音楽大学客員教授

関根 礼子: 音楽評論家、本学オペラ研究所嘱託研究員、(公財)三菱 UFJ 信託芸術文化財団理事

堀内 修: 音楽評論家

【執筆者】

大田美佐子: 神戸大学大学院教授

3.オンラインデータベース『オペラ情報センター』の運営

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(平成 24～28 年度)により構築したオンラインデータベース『オペラ情報センター』へのデータ入力について、文部科学省の補助事業としては平成 29 年度で終了となったが、当研究所の事業として継続して入力を実施し、データの拡充を行った。

4.新国立劇場との提携

本学が(公財)人新国立劇場運営財団と交わした研究成果やデータの相互貸与に関する覚書を今年度も更新した。

バレエ研究所

昭和音楽大学バレエ研究所は国内唯一の大学附属バレエ研究機関として平成 18 年に設立された。国内外におけるバレエ教育やバレエ界の状況等について調査・研究を行うことが目的である。

【2025年度研究員】

所長

小山 久美 昭和音楽大学短期大学部教授

研究員

岩部 純子 昭和音楽大学准教授

勝川 史憲 慶應義塾大学名誉教授

昭和音楽大学・短期大学部非常勤講師

小尻 健太 昭和音楽大学・短期大学部非常勤講師

杉本 亮子 昭和音楽大学・短期大学部非常勤講師

長野 由紀 昭和音楽大学・短期大学部客員教授

渡辺 恭子 昭和音楽大学・短期大学部非常勤講師

バレエ研究所アドバイザー(五十音順)

石井 清子 東京シティ・バレエ団評議員

海野 敏 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科教授

舞踊評論家

●2025年度活動内容

1.デジタル・アーカイブ「バレエアーカイブ」の運営

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(2015 年度～2019 年度)でバレエ研究所が構築した、日本におけるバレエ公演のデジタル・アーカイブ「バレエアーカイブ」の運営を継続して行った。データを拡充するほか、ページの改修やデータ出力機能の追加等を行い、サイト機能の向上を図った。

2.日本バレエ団連盟が行う文化庁事業「日本バレエ界の動向把握に向けた公演データベース作成および調査」の再委託

日本バレエ団連盟が行う独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業「令和7年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」のうち、以下の調査を委託された。

(1)「ダンサーの怪我予防に向けた調査」

広島大学大学院の協力により、ダンサーに多い足部の怪我に特化した調査を行い、足部構造の理解促進を図るとともに怪我予防やパフォーマンス向上の一助となることを目指した。

(2)「バレエ公演データベース作成」

日本におけるバレエ公演に関する基礎データの収集・整備を行った。加盟団体等から過去に開催されたバレエ公演プログラムの寄贈を受け、各公演の詳細をデータ化し、本年度は302件の入力を行った。本情報はバレエ研究所が運営する「バレエアーカイブ」上に公開されており、誰でもアクセスが可能である。

舞台芸術政策研究所

昭和音楽大学舞台芸術政策研究所は、舞台芸術政策・マネジメントに関する調査・研究と提案・発信を行うことを目的に、平成25年1月に設置。関係機関と密接な連携を図りながら、専門的見地からの舞台芸術に関するデータの収集・分析と振興方策の提案を行い、わが国の舞台芸術の発展に寄与する

【2025年度研究員】

所長

石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授
吉原 潤 昭和音楽大学准教授
岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授
仁科 岡彦 昭和音楽大学客員教授
韭澤 弘志 昭和音楽大学客員教授
袴田 麻祐子 昭和音楽大学嘱託職員

●2025 年度活動内容

1.FACP2025 大会への出席

期日:2025年10月16日(木)~19日(日)

会場:プチョン(韓国)

FACP(Federation for Asian Cultural Promotion・アジア芸術文化交流促進連盟)による年次国際会議「アジアが持つ文化的可能性—伝統、革新及び共感力の創造」に、石田麻子教授、白船睦洋教授、家安勝利参加が出席した。

※本派遣は、文化芸術活動基盤強化基金「クリエイター等支援事業」に充当されるため、同事業より経費が補助された。

2.日本音楽芸術マネジメント学会の運営

(1)第17回夏の研究会(※登壇者の肩書は当時のもの／参加者約35名)

テーマ《「神戸国際フルートコンクール」の現在》

日程:1日目:2025年9月6日(土)神戸国際フルートコンクール 本選 視察
(神戸文化ホール 中ホール)

2日目:2025年9月7日(日)研究会

(神戸市男女共同参画センター あすてっぷ KOBE)

研究会登壇者

基調講演: 神田寛明 神戸国際フルートコンクール運営委員長／ NHK 交響楽団首席フルート奏者／桐朋学園大学教授

パネルディスカッション:

宇野文夫 作曲家／音楽評論家／神戸学院大学人文学部長・人間文化学研究科長
神田寛明 [前出]

服部孝司 (公財)神戸市民文化振興財団 理事長

モデレーター: 壬生千恵子 東京音楽大学音楽学部 教授 *

(五十音順、敬称略／*は Jasmam 会員)

(2)第 18 回冬の研究大会(※登壇者の肩書は当時のもの／参加者約 90 名)

日 時:2026 年 2 月 28 日(土)8:30~17:50

会 場:東京音楽大学 中目黒キャンパス

9:00 ~13:25 研究報告 9 本、現場レポート 2 本、特別企画 1 本

13:45~17:50 シンポジウム

《令和の時代に音楽・演劇業界を志すということ／持続するということ》

基調講演「政府統計と芸団協調査に見る実演芸術の状況～一つのオプション」

大和 滋 (公社)日本芸能実演家団体協議会 参与

パネルディスカッション①「令和の時代に音楽・演劇業界を志すということ～若者の本音」

パネリスト 小針 侑也* (株)イープラス エージェント事業部

前久保 諒 東京芸術劇場 事業企画課 事業第一係

前原 拓也 SPAC- 静岡県舞台芸術センター

前田 珠樹 (公社)大阪市音楽団

モデレーター 林 健次郎* JaSMAM 理事 / (公財) 宮城県文化振興財団

パネルディスカッション②「令和の時代に音楽・演劇業界を持続するということ」

パネリスト 二瓶 純一 (株)ジャパン・アーツ 代表取締役社長

古矢 直樹 (公財)吹田市文化振興事業団副理事長

宮崎 刀史紀* (公財)港区スポーツふれあい文化健康財団 みなと芸術センター
開館準備室長

モデレーター 森岡 めぐみ* JaSMAM 理事 / (公財)神戸市民文化振興財団

(五十音順、敬称略／*は Jasmam 会員)

(3)学会誌・会報の発刊

学会の刊行物の編集作業を担い、学会誌『音楽芸術マネジメント第 17 号』を 3 月に、学会会報 34 号・35 号を 6 月・1 月に刊行した。

歌曲研究所

昭和音楽大学歌曲研究所は、歌曲資料の収集及び演奏法の研究を目的とする。

【2025 年度研究員】

所長

井ノ上 了吏

昭和音楽大学教授

研究員

酒巻 和子	昭和音楽大学教授 音楽研究科長
柴山 昌宣	昭和音楽大学教授
中村 佳子	昭和音楽大学短期大学部教授
鈴木 とも恵	昭和音楽大学准教授
廣田 美穂	昭和音楽大学短期大学部准教授
藤原 海考	昭和音楽大学短期大学部准教授

●2025 年度活動内容

1. 歌曲研究会

(1) イタリア語唱法研究部会

2025 年度本研究部会は、研究会の開催を検討したが、講師との調整がつかず、開催を見送った。

(2) 日本語唱法研究部会

歌曲を学ぶ上で、詩の音読は最も重要なプロセスのひとつ、音読することで言葉のリズムや息づかいが見え、歌唱表現が豊かに立体的になる。昨年度に続き「日本の詩と朗読のこころ」をテーマに、童謡・童話の世界を素朴なことばで豊かに表現した宮沢賢治、北原白秋、金子みすゞなどの詩人を探り上げ、歌になるとき美しく響き出すことばの魅力を研究した。

「日本の詩と朗読のこころ Vol.2」

日 時：2026 年 2 月 18 日(水) 14:00～15:30

会 場：ユリホール

講 師：えぐさゆうこ(本学准教授)、暁方ミセイ(詩人)

演 奏：声楽コース学部 4 年生 3 名 伴奏 近藤大夢(研究員)

2. 高校生のためのコンクール

平成12年度から実行委員会形式で開催してきた高校生のための歌曲コンクールは、平成15年度より昭和音楽大学の主催とし音楽教育研究所の研究課題として実施してきた。

今年度は、「第 26 回高校生のための歌曲コンクール」、昨年度より開設した「中学生チャレンジ部門」、「第4回高校生のためのミュージカル歌唱コンクール」を実施した。

令和 7 年度実施概要

・第 26 回高校生のための歌曲コンクール

① 予選《対面審査》

日 程：2025 年 5 月 10 日(土)～6 月 8 日(日)

方 法：予選審査曲(イタリア歌曲 1 曲)

会 場：仙台・新百合ヶ丘・名古屋・岡山・福岡の 5 会場

参 加：118 名

審査員：声楽の本学教員

② 本選《対面審査》

日 程：2025 年 7 月 27 日(日)

審 査：イタリア歌曲・日本歌曲より任意の歌曲計 2 曲による審査

会 場：テアトロ・ジューリオ・ショウワ

参加者：37名(選出 39 名、2 名辞退)

審査員：井ノ上了吏 上杉清仁 上田武夫 大森智子 柴山昌宣 鈴木とも恵

中村佳子 長島由佳 廣田美穂 藤原海考 吉村恵 (五十音順・敬称略)

表 彰：優秀賞 5 名／奨励賞 14名

・中学生チャレンジ部門

①審査《ビデオ審査》

方 法：中学校教科書に掲載されている曲 1 曲を歌唱する場面を収録したビデオによる審査

応 募：13 名

審査員：声楽コース教員

②本選歌唱(副賞)

4名が選出され、「第 26 回高校生のための歌曲コンクール」本選にて歌唱した。

・第4回高校生のためのミュージカル歌唱コンクール

①予選《ビデオ審査》

方 法：自由曲1曲を歌唱する場面を収録したビデオによる審査

応 募：31名

審査員：ミュージカルヴォーカル教員

②本選 《対面審査》

日 程：2025 年 8 月 24日(日)

審 査：自由曲・課題曲の計2曲(以下のミュージカル作品の中から任意の 1 曲)

(課題曲)回転木馬、キス・ミー・ケイト、南太平洋、ガイズ&ドールズ、マイ・フェア・レディ、
ウェスト・サイド物語、ラ・マンチャの男、ザ・ミュージック・マン、サウンド・オブ・ミ
ュージック、ファンタスティックス、ハロー・ドーリー、屋根の上のヴァイオリン弾き

会 場：テアトロ・ジューリオ・ショウワ

参加者：14名(17 名選出、3 名辞退)

審査員：赤星啓子 佐渡寧子 高田二郎 土居裕子 萩原かおり 秦貴美子(五十音順・敬称略)

表 彰：優秀賞4名／奨励賞 3 名

アートマネジメント研究所

アートマネジメント研究所は、アートマネジメントに関する領域の研究および関連分野の研究を目的としており、「アートマネジメント研究部会」、「コミュニケーションセンター」の 2 つの部門で活動している。

【2025 年度研究員】

所長

中尾 友彰 昭和音楽大学准教授

研究員

石田 麻子 昭和音楽大学教授

渡辺 章 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

吉原 潤	昭和音楽大学准教授
岸田 生郎	昭和音楽大学客員教授
武濤 京子	昭和音楽大学客員教授
仁科 岡彦	昭和音楽大学客員教授
古橋 祐	昭和音楽大学客員教授
菰澤 弘志	昭和音楽大学客員教授
森川 卓夫	昭和音楽大学客員教授
布目 藍人	昭和音楽大学非常勤講師

●2025 年度活動内容

1.アートマネジメント研究部会

アートマネジメント研究部会は、研究員それぞれが自身の研究活動や共同研究をベースに、時事的なテーマに基づいた研究会・研究発表を行っている。2025 年度は、以下の研究活動および「音楽芸術運営研究 No.19」を発行した。また、酒井准教授による「ヴァイオリニスト細谷正秋の「芸術運動」(1946～53 年)に関する資料調査の報告」に関する研究発表も行われた。

(1)研究会・研究発表・意見交換会の実施

研究会：対面(部会会議室)での開催

- ・第1回：2025 年 6 月 4 日(水) 12:40～13:15 2025 年度の活動等
- ・第2回：2025 年 7 月 16 日(水) 12:40～13:15 音楽芸術運営研究の発行に関して等
- ・第3回：2025 年 9 月 24 日(水) 12:40～13:15 音楽芸術運営研究の募集に関して等
- ・第4回：2026 年 1 月 14 日(水) 12:40～13:15 酒井准教授の研究発表等

(2)研究発表：対面(部会会議室)での開催

- ・2026 年 1 月 14 日(水) 12:40～13:15

〔研究報告〕「ヴァイオリニスト細谷正秋の「芸術運動」(1946～53 年)に関する資料調査の報告」(発表：酒井健太郎准教授)

(3)「音楽芸術運営研究 No.19」の発行

研究員の研究活動報告や論文をまとめた「音楽芸術運営研究 No.19」を編集した。前号より紙媒体での刊行はせず、附属図書館の機関リポジトリでの電子公開へ移行することとなった。

2.コミュニケーションセンター

昭和音楽大学コミュニケーションセンター(SCC)は、「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムの運営とそれに伴う研究活動を行っている。

「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムは、川崎市麻生区を中心に、学生によるアウトリーチ活動等の音楽芸術交流活動を通して、地域貢献と学生自身の成長を実現し、社会性を持った音楽人の育成を行う取組みである。平成 18 年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代 GP)に選定され、平成 20 年度より正規授業としてカリキュラム化され(科目名「音楽活動研究①②③④」)、平成 23 年度よりキャリア関連科目としても位置付けられた。

SCC では、「音楽活動研究」の授業の全般的な運営、派遣依頼受入れの可否の検討と依頼元への連絡・交渉、学生の演奏・指導派遣のコーディネート、広報活動等を行った。

(1)「音楽活動研究」の授業運営

- ・音楽活動研究分科会と連動した「ミュージック・コーディネート演習①」「音楽活動研究①②③④」の授業の全般的運営
- ・「音楽の贈り物」公演制作・実施(下記(4)に記載)

- (2)演奏指導活動派遣（活動数：演奏活動 6 事業 9 回、教育指導活動 1 事業 2 回）
- ・川崎市立中央支援学校小学部稲田分教室(木管五重奏)
 - ・川崎市立王禅寺中央小学校(計 2 回 木管五重奏、金管五重奏)
 - ・川崎市立三田小学校(計 2 回 木管五重奏、金管五重奏)
 - ・川崎市教育委員会事業 1 事業 2 回(下記(3)に記載)
 - ・麻生区役所連携事業 1 事業(下記(4)に記載)
 - ・麻生老人福祉センター事業 1 事業(フルート三重奏、金管五重奏、声楽アンサンブル)
 - ・公益財団法人厚木市文化振興財団連携事業「0 歳からのコンサート」
1 事業 2 回(声楽アンサンブル)
- (3)川崎市教育委員会事業：1 事業
- ・「2025 年度ジュニア音楽リーダー育成事業」吹奏楽指導
日 時：令和 7 年 6 月 15 日(日)、6 月 29 日(日)
会 場：昭和音楽大学 南校舎 教室 等
- (4)麻生区役所 地域みまもり支援センターとの連携事業：1 事業
- ・「音楽の贈り物」
日 時：令和 7 年 11 月 29 日(土)15:00～17:00
場 所：昭和音楽大学 南校舎1階 C101 スタジオブリオ、他

音楽療法研究所

音楽療法研究所は、音楽療法に関する領域の研究および関連分野の研究を目的とする。
音楽療法研究所の 2025 年度年間テーマは、「この街で暮らす・音楽と生きる」とし、羽石英里客員教授による講演会や、障害者が主役のドキュメンタリー映画の上映会を実施した。2023 年度より開始した、パーキンソン病のための歌による音楽療法ボイスプログラムインストラクター養成講座を開催した。さらに、音楽療法アーカイブ事業では、教材開発事業として、学生が音楽療法活動のために作曲した曲集作成に向け、楽譜を収集した。また、研究所紀要として 2011 年度から発行してきた「音楽療法研究」は、2025 年度において第 15 号となった。

【2025 年度研究員】

所長

二俣 泉 昭和音楽大学教授／日本音楽療法学会副理事長

研究員

羽石 英里	昭和音楽大学客員教授／日本音楽療法学会代議員
萩原 かおり	昭和音楽大学教授
白川 ゆう子	昭和音楽大学准教授／日本音楽療法学会代議員
鈴木 涼子	昭和音楽大学准教授／日本音楽療法学会代議員
伊藤 啓子	昭和音楽大学客員教授
大山 祥子	昭和音楽大学非常勤講師／日本音楽療法学会代議員
杵鞭 広美	桐朋学園大学教授／昭和音楽大学非常勤講師
小柳 玲子	昭和音楽大学非常勤講師／日本音楽療法学会代議員
田原 ゆみ	昭和音楽大学非常勤講師
三浦 優佳	昭和音楽大学非常勤講師

アドバイザー

松井 紀和

昭和音楽大学客員教授／日本臨床心理研究所所長／精神科医師

村林 信行

昭和音楽大学客員教授／日本音楽療法学会常任理事／精神科医師

●2025 年度活動内容

2025 年度は、テーマを「この街で暮らす・音楽と生きる」とし、以下の 1.～4.にわたる事業をおこなった。

1. 講習会の開催

日本音楽療法学会認定音楽療法士を対象に、「パーキンソン病のための歌による音楽療法ボイスプログラム(MTVP)インストラクター養成講座」を 2 日間にわたって実施した。

【1 日目】9 月 14 日(日)

担当:羽石 英里(昭和音楽大学客員教授)

井上 美緒(かわさき記念病院作業療法士、日本音楽療法学会認定音楽療法士)

補助:修士課程 2 年生1名(日本音楽療法学会認定音楽療法士)

10:30-12:00 イントロダクション 呼吸・発声・嚥下のメカニズム

13:00-14:30 発声とからだ

14:40-16:10 音楽療法ボイスプログラムの理論的背景

【2 日目】9 月 15 日(月・祝)

担当:羽石 英里(昭和音楽大学客員教授)

深野 広美(元本学非常勤講師、日本音楽療法学会認定音楽療法士)

補助・一部担当:修士課程 2 年生1名(日本音楽療法学会認定音楽療法士)

9:00-10:30 音楽療法ボイスプログラムの実際

10:40-12:10 活動プログラムの考案と発表

13:00-14:30 受講者と患者ボランティアとの対面セッション

14:30-15:00 まとめ 修了証授与

2. 研究所主催研究会の開催

A. 講演テーマ:「大人になってからの選択肢－重い障害があってもこの街で暮らす」

日時会場:2025 年 9 月 17 日(水)10:30～11:30 A311 教室

対象:音楽療法室 Andante 通室児の保護者、附属音楽・バレエ教室「支援が必要な方のための音楽」クラス通室者の保護者、麻生区民、音楽療法研究所研究員、音楽療法コース学部生、大学院生

企画:昭和音楽大学音楽療法研究所

主催:昭和音楽大学地域連携推進室

共催:ボイスインクルーシブ*

*障害・疾病の有無や程度、年齢、セクシャリティ、出自、人種・民族等の違いを超えて、ひとりひとりが自分らしく生き、それを認め合えるインクルーシブがコミュニティづくりを目標としている任意団体。テーマに関連した映画上映、講演、シンポジウム、障害の有無にかかわらず参加できる芸術活動、ワークショップの開催を行う。団体代表は羽石英里客員教授。

B. 宍戸大裕フィルムシリーズ vol.1

「この街で生きる一言を越えて 映画『道草』上映会&監督トークショー」

日時会場:2025 年 11 月 1 日(土) 杜のホールはしもと多目的室

主 催:ボイスインクルーシブ

後 援:昭和音楽大学音楽療法研究所、昭和音楽大学同僚会音楽療法部会、相模原市、
相模原市社会福祉協議会

C. 穴戸大裕フィルムシリーズ vol.2

「この街で生きる一境を越えて 映画『杳かなる(はるかなる)』上映&監督トークショー」

日時会場:2026年2月15日(日) C511 教室

監 督:穴戸大裕

聞 き 手:羽石英里客員教授

共 催:昭和音楽大学同僚会音楽療法部会

後 援:昭和音楽大学

3.音楽療法研究所紀要『音楽療法研究』の発行

2025年度で発行15年目を迎えた。研究員らによる研究成果や活動報告を記載した。

4.「音楽療法ディベロップメント」事業の開催

(1)人材開発 キャリア支援講座

音楽療法コース4年生と大学院修士課程2年生のうち日本音楽療法学会認定音楽療法士(補)資格試験および日本音楽療法学会認定音楽療法士資格試験(実技・面接)を受験する学生をメインの対象とした対策講座をおこなった。

(2)教材開発研究

音楽療法実習の中で使用しているオリジナル楽曲(歴代のもの)曲集としてまとめて形に残すことを目的とし、昨年度に引き続き作業をおこなった。本年度は学生が残した手書きの楽譜を収集し、順次データ化(楽譜作成)をおこなった。

(3)音楽療法アーカイブ

過去のインタビューの音声データを文字起こした。

音楽教育研究所

研究所は、幼児教育(導入期)から大学等における音楽専門教育及び関連領域について、特に鍵盤楽器及びソルフェージュに関し国際的視野に立って調査研究することを目的とする。

【2025年度研究員】

所長

江口 文子 昭和音楽大学教授

研究員

角南 篤 昭和音楽大学教授

石田 麻子 昭和音楽大学教授

林田 枝実 昭和音楽大学教授

飯田 佐恵 昭和音楽大学准教授

石川 亮子 昭和音楽大学准教授

豊住 竜志 昭和音楽大学准教授

益田 トツシュ	昭和音楽大学准教授
森 篤史	昭和音楽大学短期大学部准教授
満江 菜穂子	昭和音楽大学専任講師
奥村 晃博	昭和音楽大学客員教授
岸田 生郎	昭和音楽大学客員教授
川染 雅嗣	昭和音楽大学客員教授
林 眞砂子	昭和音楽大学非常勤講師

●2025 年度の実施内容

〈推薦音楽会〉

附属音楽・バレエ教室の4歳～高校3年生までのピアノ・声楽・弦・管・打楽器等を専攻している生徒のうち、オーディションにて選出された生徒を出演対象として「推薦音楽会」を開催している。実力のある優秀な生徒の幼少期から中高生までの演奏力・技術力等の成長について研究課題としている。令和7年度に関しては2月22日に開催、オーディションに参加した全28名(弦楽器3名、ピアノ16名、声楽9名)が選出された。

ピリオド音楽研究所

ピリオド音楽研究所は、ピリオド音楽およびピリオド演奏の研究を目的とする。

【2025 年度研究員】

所長

有田 栄 昭和音楽大学教授

研究員

藤田 真頼 昭和音楽大学短期大学部教授

森田 学 昭和音楽大学准教授

満江 菜穂子 昭和音楽大学専任講師

黒田 隆 昭和音楽大学客員教授

上杉 清仁 昭和音楽大学非常勤講師

菊池 奏絵 昭和音楽大学非常勤講師

島根 朋史 昭和音楽大学非常勤講師

宮村 和宏 昭和音楽大学非常勤講師

客員研究員

有田 正弘

濱田 芳通

●2025 年度実績

公開講座1回、研究所会議を1回行い、研究課題などについて討議し、また研究員の関係するピリオド音楽にかかわる活動について情報共有した。

第30回公開講座

『テオバルト・ベームの遺産／フルートの革新と現代での継承～カタリーナ・ベーム氏を迎えて～』

日時会場：2026年2月13日(金)18:30 南校舎 C103 オーケストラスタジオ

内 容:フルートの歴史と、20 世紀におけるフルートの劇的な発展と演奏の可能性をもたらした
ベーム式フルートの革命が歴史に与えた影響を、直接体験する。また、フルート音楽の発展をたどり、19 世紀にベーム式フルートが発明されたことにより作曲家、演奏家、聴衆にもたらされた革新的な音響美学に焦点を当てることで、フルート の音響美学を再創造する。ベームの子孫であり、歴史的演奏解釈(HIP)にも力を入れているカタリーナ・ベーム氏を招き、ベームとベーム式フルートの革命に関する研究についての興味深い講義と演奏を聞いた。

- ベーム式フルートとそれまでのフルートとの違い
- パリ音楽院での採用とフランスのフルート工房 Louis Lot について
- Th.ベームのフルート作品、エチュードについて
- ベーム式フルートの開発による影響(作曲家、演奏家、聴衆、音響美学等)

講義演奏:カタリーナ・ベーム＝プロカイン(フルート)

通 訳:松崎 ゆり

ピ ア ノ:與口 理恵(本学講師)

司 会:藤田 真頼(本学教授)

受 講 料:一般:1,500 円 学生 1,000 円 ※ 小～高校生、本学学生・教職員は無料

入場者数:108 名(うち有料[一般]:70 名、[学生]:7 名／無料[本学教職員学生]31 名)

4. 事業運営部関係

附属音楽・バレエ教室

幼児(2歳)から中高年層まで幅広い年齢層を対象として音楽・バレエ教室を展開している。教室は、新百合ヶ丘校(大学内)、小田原校、センター北校、海老名校、藤沢校、戸塚校、仙台校、武蔵小杉校の8校。2026年3月時点において延べ3,660名が在籍しており、各分野において、以下のとおり計50種類のコースを開講している。

- 幼児音楽教育〈年間36回開講〉
年齢別に、親と子のおとあそび、おんがくのアトリエで4つのコースを展開している。
- ソルフェージュ〈年間36回開講〉楽典・聴音・新曲視唱を学ぶコース。
- 個人レッスン ピアノ、電子オルガン、弦・管・打楽器、声楽、作曲、ポピュラー音楽、ジャズピアノ等
※受講者は、年間36回の「選科レッスン」コース、年間24回の「大人の音楽」コース、年間12回の「忙しい方のための音楽レッスン」コースの中から、通室回数を選択することができる。また、音楽大学卒業もしくは同等レベルの受講者は、年間24回・12回のマスタークラスを選択することができる。
音楽高校や音楽大学受験希望者には、年間36回の進学コースも用意している。
- アンサンブル 〈年間36回開講〉弦楽 〈年間24回開講〉文化箏、二胡、ウクレレ、ギター、フルート
- グループで歌う〈年間24回開講〉
グループヴォーカル、ヴォーカルトレーニング、童謡を歌おう、楽しくオペラを歌おう、
良い発声に繋げるためのボディワーク、日本語で歌おう世界の名曲、
青春のポップスコラス、ジャズヴォーカル、カンツォーネ、シャンソン、
爽快ベルカント、歌声サロン、発声から始める歌謡曲、日本歌曲を歌おう、
ドイツ・リートの世界
- 舞台芸術 〈年間42回開講〉バレエ(年齢別クラス)〈一般向けチケット制〉バレエオープンクラス
〈年間36回開講〉ミュージカル、ミュージカルヴォーカル、ジャズダンス、キッズダンス
- 教養講座 〈年間36回開講〉イタリア語 〈年間24回開講〉朗読サロン
- 音楽療法 〈年間36回、24回開講〉支援が必要な方のための音楽コース
- フィットネス 〈年間36回開講〉フィットネスヨーガ、ダンスビクス
〈年間24回開講〉大人のストレッチ

日頃のレッスンで学んだ成果を披露することを目的にした、在籍生による発表会を開催している。

2025年度は各教室の個人レッスンコースやバレエ、ミュージカル、幼児音楽、シャンソン、ジャズヴォーカルコース等、計19回の発表会を開催した。2026年度本学大学・短大進学者は5名。全校の年齢構成として、小学生17.5%に次いで、50代～90代以上の大人の在籍生が40%以上を占めており、地域に開かれた大学附属機関およびサテライトキャンパスとしての役割を果たしている。

パスウェイズ

Pathways(パスウェイズ)は、音大受験を志す中・高生を対象とした、大学・短大の講師による継続的なレッスンを特長とする受験対策スクールであり、2022年9月の開講から4年目を迎えた。

2026年3月時点で約200名の生徒が在籍しており、レッスン内容は実技やソルフェージュの個人レ

ッスンならびにグループレッスン(楽典・ソルフェージュ・ミュージカルダンス)を開講し、本学内での対面受講またはオンライン受講にも対応している。

2025 年度の年間を通じた生徒募集活動としては、無料体験レッスンを随時実施するとともに、パスウェイズの説明会・相談会を、定期的なオープンキャンパスや受験講習会とあわせて開催し、継続的な入室生募集を行った。

また、2025 年 8 月 1 日・4 日には、パスウェイズ在籍生および附属音楽・バレエ教室進学コース在籍生合同の試奏会をコリホールにて開催し、在籍生の学修成果発表の機会を設けた。加えて、入試課題への対応力向上、学修成果確認を目的とした「入試実技対策レッスン」を 6 月・9 月・11 月の計 3 回実施し、在籍生の実技力向上と本学受験への接続強化を図った。

2025 年度のパスウェイズ在籍生から、本学の 2026 年度入試には学部・短大・大学院・研究生あわせて延べ 130 名が出願し、入学手続き者は 95 名となり、いずれも前年度を上回る実績となった。

附属ピアノアートアカデミー

附属ピアノアートアカデミーは、音楽家を志す人の技術や表現力の向上のみならず、各々の個性がさらに輝き、ステージに生かされるための人間性を養うことにも重点を置き、真に魅力あふれる音楽家の育成を目的として開設された。

2025 年度時点では、小学生から大学院生、ピアニストまで、幅広い年齢層の人たちが各地から通っており、在籍生は同じ目標を持つ仲間として、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深め、お互いに刺激あいながら日々学んでいる。江口文子主任教授が中心となって指導を行うこととその実績により、現在では本邦を代表する教育機関として国際的に知られるようになった。昭和音楽大学・同短期大学部において学修機会を得たい学生の増加やその質の向上に寄与している。

2025年度においては、プレビューアカデミーやピアノと室内楽のマスタークラスなどのイベントや、在籍生によるピアノ・リサイタルやコンサートを開催した。

在籍生によるコンクールでの実績も多く、第 27 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会(2026 年 1 月)では、ソロアーティスト部門にて先立有佐が金賞、コンチェルト C 部門にて松下日花里が金賞、大学生部門にて長谷川美紀と上坂哲生が金賞(長谷川美紀は特別賞 NIFC 賞も受賞)の快挙もあり、充実した活動を行うことが出来た。

●2025 年度の主な活動内容

1. 〈特別演奏コース〉

定期的にピアノ個人レッスン、ソルフェージュレッスン、海外講師による特別レッスンを行う他、3 月には附属ストリングスアカデミーと合同でコンサートを開催した。

2. 〈総合コース〉

月 1 回のレッスンやクラス授業を実施。小学生～高校生を対象にピアノ個人レッスン、ソルフェージュレッスン、感性と教養のクラスを行う他、3 月には成果発表コンサートも開催した。

3. 〈研究コース〉

ピアノ個人レッスン、アンサンブル、キャリア形成の支援を行う。

●主催イベント(開催順)

- ① 2025 年 5 月 14 日 〈黒木雪音ピアノ・リサイタル〉 東京公演 日本製鉄紀尾井ホール
- ② 2025 年 6 月 21 日 〈黒木雪音ピアノ・リサイタル〉 高知公演 高知県立県民文化ホール

- ③ 2025年7月5日～6日〈サマープレビューアカデミー〉昭和音楽大学 南校舎、ユリホール等
レッスン(ソロコース／コンチェルトコース)に加え、ユリホールでの音楽講座、ピアノ・ソロの弾き合
い会を実施。
- ④ 2025年12月25日～26日〈プレビューアカデミー〉 昭和音楽大学 南校舎、ユリホール等
ピアノの個人レッスンに加え、参加者全員で学ぶ音楽講座、成果発表の場としてユリホールでの
成果発表コンサートを実施。小学2年～高校3年を対象に開催。全国各地から受講生が参加した。
- ⑤ 2026年2月22日～23日〈ピアノと室内楽のマスタークラス〉昭和音楽大学 南校舎
ピアノの個人レッスン、ピアノと弦楽器による二重奏曲～三重奏曲の室内楽のレッスンを実施。
- ⑥ 2026年3月1日〈昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミー&ストリングスアカデミー ピアノと
弦による春のコンサート〉王子ホール
在籍生によるコンサートを開催。ゲストに、教授や講師も共演し、ピアノ・ソロと室内楽曲による多
彩なプログラムにて行った。

● 2025 年度における在籍者のコンサート出演

国内各地及び海外での公演など、在籍者のコンサートへの主な出演内容については次の通り。

2025年

- 5/1 TAKAOKA 春の音楽祭 2025「黒木雪音&アウシマス・パレホ デュオコンサート」
- 5/3 ガルガンチュア音楽祭 黒木雪音ピアノ・リサイタル@金沢市アートホール
- 5/3 ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2025 エリアコンサート 三井柚乃出演
- 5/4 ガルガンチュア音楽祭 黒木雪音×チャイコフスキーピアノ協奏曲第1番@石川県立
音楽堂 デンマーク国立フィルハーモニー管弦楽団×山下一史
- 5/5 大阪万博 ポーランドパビリオン 米田彩乃出演
- 5/9 黒木雪音 アイルランド国立交響楽団@アイルランド国立コンサートホール
- 5/14 黒木雪音ピアノ・リサイタル 東京公演@日本製鉄紀尾井ホール
- 5/17 黒木雪音 リトアニア国立交響楽団@リトアニア
- 6/18 ピアノジョイントコンサート@杉並公会堂 先立有佐出演
- 6/21 黒木雪音ピアノ・リサイタル@高知公演@高知県立県民文化ホール グリーンホール
- 7/11 吉原佳奈ピアノ・リサイタル@代官山教会 Church Hall
- 8/15 先立有佐ピアノ・リサイタル@ショパン生家ジェラゾヴァ・ヴォラ(ポーランド)
- 9/13 長谷川美紀ピアノ・リサイタル@代官山教会 Church Hall
- 10/5 ジョイントコンサート 新潟音楽祭 2025 上坂哲生出演
- 10/27 音楽で旅する 300 年 ランチタイム名曲コンサート 三井柚乃@宗次ホール
- 3/1 昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミー&ストリングスアカデミー ピアノと弦によ
る春のコンサート@王子ホール

● 2025 年度における在籍生のメディア出演・掲載

主な出演・掲載内容については次の通り。

2026年

- 1/24 FM ヨコハマ Piano Winery～響きのクラシック～ 上坂哲生出演
- 1/31 FM ヨコハマ Piano Winery～響きのクラシック～ 鎌田紗綾出演

● 2025 年度における在籍者のコンクール歴

8月 第4回(2025 年度)世田谷音楽コンクール ピアノ部門 本選
F 級 審査員賞 長谷川美紀

2026 第 27 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会

1月 ソロアーティスト部門 金賞 先立有佐
コンチェルト C 部門 金賞 松下日花里
大学生部門 金賞 長谷川美紀
大学生部門 金賞 上坂哲生
特別賞 NIFC 賞 長谷川美紀(大学生部門)

附属ストリングスアカデミー

附属ストリングスアカデミーは、音楽の本質を学ぶ寺子屋として、弦楽器の技術や表現力の向上のみならず、各々の感性や幅広い視野、好奇心を育むことにも重点を置き、魅力あふれる人間性を身に付けると共に、世界で活躍できる音楽家の育成を目的として、2023 年度より開設された。弦楽器をはじめ子どもから、キャリアアップを志す大人までを中心に、個人レッスン、室内楽アンサンブルなど、「実践的な音楽教育」を行っている。2026年3月末時点で3歳～68歳までの幅広い年齢層の人々が全国各地より通っており、同じ志を持つもの同士で切磋琢磨し合いながら音楽を楽しんでいる。伊藤亮太郎アカデミー主任教授が中心となり指導を行うこと及びその実績により、開設3年目にして 47 名もの生徒が在籍する。

●2025年度の主な活動内容

- 1.特 別コース:月 1～3 回のレッスンを実施した。3歳～11 歳に対しヴァイオリン個人レッスンを行う他、2 月には成果発表会、3 月には PAA と合同コンサートを開催した。
- 2.総 合コース:月 1～2回のレッスンを実施した。7歳～50 歳に対しヴァイオリン個人レッスンを行う他、2 月には成果発表会、3 月には PAA と合同コンサートを開催した。
- 3.室内楽コース:月2回の室内楽レッスンを実施した。その他、2 月には成果発表会も開催した。

- ・2024 年 10 月 24 日より YouTube 及び各 SNS にて、子どもから大人まで弦楽器の知識を増やせる「おしえて♪りょうちゃん先生(伊藤主任教授)」1 分トーク番組を毎日配信して、2025 年 10 月 23 日までの365日間を完走した。

<https://www.youtube.com/@Showa-strings.academy/videos>

- ・2024 年度より株式会社壺番屋(カレーハウス CoCo 壺番屋)創業者、NPO 法人イエロー・エンジェル理事長、宗次ホールオーナーの宗次徳二様と協議を重ね、2025 年度から「宗次エンジェル基金」としての助成を受け、ゼロからヴァイオリンをはじめ子どもを対象に最長1年のレッスン代無料化を実現。その功績が認められ、2026 年度も引き続き助成して頂けることとなった。

https://www.tosei-showa-music.ac.jp/news/information/20250314_003056.html

- ・2024 年度よりヤマハ株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパンと協議を重ね、2025 年度から「特別協力」として、子ども用の分数ヴァイオリンを、当アカデミー生に無償貸与いただけることが実現。その功績が認められ、2026 年度も引き続きご支援をいただけることとなった。

https://www.tosei-showa-music.ac.jp/news/information/20250421_003173.html

●2025年度における在籍者のコンクール歴 & 演奏歴

第41回 かながわ音楽コンクール

最優秀賞(第1位) 菊地 結大(ヴァイオリン)

第4回 世田谷音楽コンクール 弦楽器部門(D級)

第1位 小松 さくら(ヴァイオリン)

第4回 横浜国際ヴァイオリンコンクール B部門

第1位 菊地 結大(ヴァイオリン)

第26回 日本演奏家コンクール入賞者によるジュニアスペシャルコンサート

管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団 曲目:チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲

小松 さくら(ヴァイオリン)

【公式HP】在籍生(卒業生を含む)のコンクール受賞実績

クリエイティブ人材育成推進室

令和7年度「文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター等支援事業(育成プログラム・構築・実践)」に本学のプロジェクト「早期教育から大学院までの一貫した音楽クリエイティブ人材の育成」が採択された。本事業に全学で取組むために、クリエイティブ人材育成推進室および教職協働で構成するクリエイティブ人材育成プロジェクトを設置した。あわせて、本事業の質保証を担う委員会に係る確認等を行った。

●2025年度の主な活動

(1)昭和音楽大学附属クリエイタースクールの開校準備

様々な楽器や音楽表現に触れ、クリエイティブな発想を育てることに主眼を置き、段階的に指導する附属クリエイタースクールの2026年4月開校に向けて準備を進めた。

「ミュージシャンコース」「クリエイターコース」の2コースについては、地域住民への周知、講師採用、体験レッスン、指導内容の構築等を行った。体験レッスンでは受講生(ミュージシャンコース9名・クリエイターコース15名参加)や保護者からのレッスン後の感想等を基にニーズを把握した。

「デジタルコンテンツコース」については、講師募集、マーケット活動等を実施した。

■2026年4月に開講のコース

《ミュージシャンコース》

内 容:ヴォーカルや楽器(ギター、ベース、ドラム、キーボード)の演奏力と表現力を磨く。

形 式:バンドアンサンブル

クラス:初級/中級クラス

《クリエイターコース》

内 容:作曲やDTMなどを通じてアイデアを形にする。

形 式:グループレッスン

クラス:小学生/中学生/高校生クラス

■2026年度中に開講のコース

《デジタルコンテンツコース》

内 容:ゲーム/アニメーション等のデジタルコンテンツ制作の基礎やプログラミングの入門を学ぶ。

形 式：グループレッスン
クラス：担当講師と協議予定

(2) 大学院音楽研究科修士課程音楽芸術表現専攻における新コースの設置準備

2027年4月に大学院音楽研究科修士課程音楽芸術表現専攻に「サウンドプロデュース」「ポップ&ロックミュージック」コースを設置する。教育内容としては、社会実装を前提としたカリキュラムを構成し、ミュージシャンや音楽クリエイターに必要とされる技術の修得を徹底する。

教育プログラムに係る人材確保、事業執行管理に加えて、大学院修士課程におけるカリキュラム作成等の新コース開設準備、3つのポリシーの改訂等を行った。日本人のクリエイターやアーティストの海外進出の事例を調査するための方策や企業等との連携によるPBL(課題解決型学習)についても協議・検討を進めた。

(3) 海外との連携：

台北城市科技大学(台湾)との連携事業の一環として、令和7年12月に同大学教員が本学へ来学し、教育内容や各国の音楽市場等についての意見を交換し、相互交流の可能性等も協議・検討した。上述の大学とは、大学院新コースのパイロット授業を令和8年6月に実施するため、授業内容等の調整を進めており、テーマは、アジア／台湾における音楽産業や配信・ディストリビューション、制作・アレンジ・パフォーマンス等が挙げられている。また、FACP 会議を契機にデ・ラ・サール大学セント・ベニルド校(フィリピン)との間で複数回のオンラインミーティングを通して、姉妹校を含めた教育連携の可能性について協議・検討を行った。

5. 施設設備関連

GHPエアコン更新計画

設置後18年経過した大学棟A棟のGHP(ガスヒートポンプ)エアコンの室外機および室内機更新工事を行った。

工事期間中は安全管理を徹底し、大きな事故やトラブルもなく竣工している。当該工事をもって、南校舎の全てのエアコンの更新が完了した。

近年は地球温暖化の影響により、毎夏、最高気温が更新されており、新百合ヶ丘においても2～10℃ほど気温が上昇していると感じられる。

今般の更新工事により、学生生活環境の改善(安定した空調供給や夏季・冬季の快適性向上)、故障リスクの低減、省エネルギー化による環境負荷低減(CO2排出量など)が期待できる。

- ・ 2025年度予算額 194,701千円
2025年度実行額 194,700千円

スタジオリリエ吊り物機構の更新

学生の安全のため、スタジオリリエの吊り物機構の更新を計画したが、必要な部材の調達できず、実施しなかった。

大阪万博開催の影響により、工事用部材(鋼材、仮設資材など)が万博会場建設、周辺インフラ整備に集中し、市場より不足したことが主な要因として考えられる。

- ・ 2025年度予算額 19,140千円
2025年度実行額 0 円

非常放送設備の更新

設置後18年経過し、部品供給が終了していた非常放送設備の更新を行った。

大きなトラブルもなく、無事に更新作業を終えている。今般の非常放送設備更新により、老朽化した機器の故障リスクを低減のほか、火災や災害時に「確実に・即座に」館内へ情報伝達が可能となり、災害時の安全確保体制がより強化された。

また、柔軟なスケジュール設定が可能となり、チャイム鳴動の変更(100分授業への対応)もスムーズに移行したほか、通常放送(アートマネジメントの学生が多く利用)を最新の基準(音量・音質など)へ対応を行った。

- ・ 2025年度予算額 8,361千円
2025年度実行額 8,360千円

6. 2026年度入学試験に関する報告

2026年5月1日 現在

()内は前年度人数

昭和音楽大学	大学院博士後期課程 (入学定員:4名)			志願者	受験者	合格者	入学者
			音楽芸術専攻	10 (6)	9 (6)	3 (1)	3 (1)
	大学院修士課程 (入学定員:80名)			志願者	受験者	合格者	入学者
			音楽芸術表現	143 (162)	138 (158)	70 (77)	51 (65)
			音楽芸術運営	49 (48)	48 (46)	15 (16)	15 (13)
			計	192 (210)	186 (204)	85 (93)	66 (78)
	音楽学部	区 分	学 科	志願者	受験者	合格者	入学者
		1年次 (入学定員:300名)	音楽芸術表現	408 (409)	398 (399)	285 (289)	229 (233)
			音楽芸術運営	117 (121)	115 (117)	99 (101)	81 (91)
			計	525 (530)	513 (516)	384 (390)	310 (324)
		3年次編・転入 (編入定員:20名)	音楽芸術表現	8 (14)	8 (14)	8 (14)	8 (13)
			音楽芸術運営	2 (3)	2 (3)	2 (2)	2 (2)
			計	10 (17)	10 (17)	10 (16)	10 (15)
		2年次編・転入	音楽芸術表現	3 (9)	3 (9)	3 (7)	3 (6)
			音楽芸術運営	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)
			計	6 (10)	6 (10)	6 (8)	6 (7)
		合 計		541 (557)	529 (543)	400 (414)	326 (346)
	音楽専攻科 (入学定員:10名)			志願者	受験者	合格者	入学者
			器 楽	2 (3)	2 (3)	1 (3)	1 (2)
			声 楽	1 (2)	1 (2)	1 (2)	1 (2)
			計	3 (5)	3 (5)	2 (5)	2 (4)
	研究生			志願者	受験者	合格者	入学者
			計	58 (79)	55 (76)	43 (57)	38 (51)

昭和音楽大学 短期大学部	音楽科 (入学定員:70名)		志願者	受験者	合格者	入学者
		計	84 (83)	81 (82)	60 (76)	44 (60)
	研究生		志願者	受験者	合格者	入学者
		計	4 (7)	4 (7)	4 (7)	4 (7)

「学校法人東成学園 新中長期計画2024年度(6月1日)～2029年度」の進捗状況（2026年3月末現在）

各項目における進捗状況を以下のとおり報告する。

	具体的な行動	具体的な時期 (例:開始時期、対応完了期日等)	進捗状況確認
若者を鍛え心から応援する			
1	クォーター制の導入	-	期中の実施は見送るものの、カリキュラムによっては実質的にクォーターの運用を増やしていく。
2	教員の教育スキル向上のための研修実施	2024年度～2029年度	2025年9月「第2回学部・短期大学部・大学院FD合同研修会」にて、教員の教育スキル向上のための研修を開催したが、一層の取り組みが必要。
3	事務職員のICTスキル向上	2024年度～2029年度	e-JINZAI、Schoo等のオンラインオンデマンド研修を契約し、ICTスキル向上のための講座の受講機会を提供した。
4	20%の学生が英語で業務遂行可能な取組	-	期中の実施は見送る。
5	学生・卒業生・修了生への事業支援	-	期中の実施は見送る。
6	特待生・奨学生の支援に注力し、特待生・奨学生延べ人数を在籍学生比15%への取組	2026年度迄	2025年度在籍者数(2025年5月1日時点)に対する特待生・奨学生(学費支援奨学金・外国人留学生奨学金)延べ人数比は約17.5%。 高等教育修学支援新制度、減免制度対象者含む延べ人数比は約34.1%。 引き続き特待生・奨学生の支援に注力することとする。
7	外国人学生数の維持および学生募集の海外展開(特に米国)	2030年度初頭・200名、 2027年度入学者目途	概ね目標に沿って維持。
8	英語のみで卒業単位修得が可能なカリキュラム整備	-	期中の実施は見送る。
9	積極的なオンデマンド・遠隔授業の導入	2026年度初頭: 開講科目数の20% 2029年度初頭: 開講科目数の50%、 ただし実技科目開講科目数の母数から外す	2025年度開講科目(実技科目除く)の内、約5%がメディア授業科目。 2026年度はさらには増える予定だが(2025年度26→2026年度46)新コースの開設や新カリキュラムで開講年次を迎える科目があることから、割合を大幅に上げることは難しいと思われる。 更なる科目数増が必要。

	具体的な行動	具体的な時期 (例:開始時期、対応完了期日等)	進捗状況確認
教職員が働きやすい職場づくりを行う			
10	教員の間接業務削減 (会議削減・事務移管)	2024年度～2029年度	2024年度に委員会の統廃合を行い、委員会のメンバーを絞ったことで、一定の効果をあげている。
11	業務担当・役割の明確化と教職員の権限委譲 (役割・役職に応じ責任を分担、決断決定、共有)	2024年度～2029年度	会議体の一層の簡素化と同時に進める。
12	基幹教員のサバティカル研究制度導入	2027年度制度導入 (クォーター制、新学部設置と同時)	2027年度導入に向けて準備を進める。
13	基幹教員制度の導入と基幹教員数増	・導入:2025年3月迄 ・増加計画:2029年度迄(新学部除く)	2025年度に基幹教員制度に移行し、基幹教員の任用を進めている。
14	事務職員の勤務時間・日数の柔軟化	2024年度着手、 2025年度導入	時間有給休暇制度及び短時間勤務職員制度の導入に向けた環境整備を行い準備を進めた。
15	教職員評価制度の見直し簡素化と事務職員向け業績評価制度導入	2025年3月迄	【教員業績評価】 ・『教員業績評価表』自己評価欄の廃止や評価項目削除等を通し制度を簡素化した。(2024年度実施済み) ・システム化に向けて準備を進めていく。 【事務職員業績評価】 ・「評価項目の確定」、「評価回数の削減」「評価時期」について簡素化を図り、2025年度考課から一部実施する。 ・システム化に向けての準備を進めていく。

	具体的な行動	具体的な時期 (例:開始時期、対応完了期日等)	進捗状況確認
安定した経営を継続する			
16	学学生在籍数(大学・短期大学部・大学院)2000名以上目標	2030年度初頭	目標に基づき進捗している。
17	金融資産運用益・施設貸出による安定した収入の確保 (平均3%かつ1.2億円以上)	2025年度～2030年度	・2025年度の施設利用料収入(47,296,944円)ならびに金融資産運用益(計233,754,705円)の合計額は、281,051,649円で1.2億円を約1.6億円上回っている。 また、2025年度事業活動収入(4,461,280,493円)の3%(133,838,415円)に対しても約1.4億円上回っている。引き続き安定した収入の確保へ努めることとする。
18	附属音楽・バレエ教室の収支均衡および在籍者5000名目標	2030年初頭	目標に基づき進捗している。
19	競争的補助金・助成金獲得の継続的なチャレンジ	2024年度～2029年度	【競争的補助金】(4件獲得) ・「私立大学等改革総合支援事業」 ・「文化芸術活動基盤強化基金(クリエイター等支援事業(育成プログラム構築・実践))助成金」 ・「令和7年度予算 文化芸術振興費補助金助成金(舞台芸術等総合支援事業(大学における芸術家等人材育成))」 ・「令和6年度補正予算 省エネルギー投資促進支援事業費補助金」 【助成金】(3件獲得、内2件は再委託): ・「宗次エンジェル基金」 ・「令和7年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」(『日本のオペラ年鑑2024』編集・公開事業) ※グランドオペラジャパンからの再委託 ・「令和7年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」(日本バレエ界の動向把握に向けた公演データベース作成および調査) ※日本バレエ団連盟からの再委託
20	ガバナンス体制維持および法令遵守への取組	2024年度～2029年度	内部監査計画書の作成、および、1部署にて内部監査を実施し、内部監査報告書にて報告を行った。
21	ステークホルダーへ経営の考え方・方針の適切な発信	2024年度～2029年度	BD、SD、FD、および、広報誌の取材対応において実施。